

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和4年6月1日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 青山直道

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>姉妹都市・友好都市について</p> <p>ベルギー王国ワテルロー市とは、長久手市と同じように古戦場を持つまちであることをきっかけとして、1992年（平成4年）に姉妹都市提携を結び、ワテルロー市への青少年派遣及び長久手市へのワテルロー市青少年の受け入れ等を行い、交流を行っている。</p> <p>長野県木曾郡南木曾町と木曾川の水が結ぶ自治体として、文化、観光、産業等を通じた交流を深めるため、平成18年に友好提携を結んだ。南木曾町施設利用優待制度は平成30年度まで実施され、出産祝い事業は現在も継続している。</p> <p>兵庫県宝塚市と長久手市に所在する介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」の名称の由来となる介助犬が兵庫県宝塚市で活動し、身体障害者補助犬法の整備に寄与した経緯から、これを縁に宝塚市と長久手市は、平成24年に「きずなづくりの誓い」のための友好提携を結んでいる。</p> <p>コロナ禍で3つの都市との交流が難しかったが、改めて結びつきを見直し交流を深めることができるよう以下の質問をする。</p> <p>(1) 姉妹都市・友好都市との交流等事業は、現在どのようになっているか。</p> <p>(2) 長久手市公共建築物等の木材の利用の促進に関する方針を掲げているが、南木曾町（木曾産）木材は使用して</p>	

	<p>いるか。</p> <p>(3) 木工工作を通じて多くの子供達が「木」に触れて、感受性や創造性に富んだ社会人に成長してくれること、そして将来温もりある社会を築いてくれることを願い、家族、学校関係者、行政、木材関係者はもとより、男女問わず、子供から大人まで多くの人を巻き込んで皆さんで「木」の可能性を考えてみたいと、令和3年度日本木材青壮年団体連合会主催の「第46回全国児童・生徒木工工作コンクール」が実施された。今年度の開催も想定され、長久手の子供たちも、南木曾町から端材等をもらい、図工の授業や夏休みの課題等で実施したらどうか。</p> <p>(4) 子供たちに姉妹都市・友好都市のことを知ってもらうためにも、給食に郷土料理などを提供しないか。</p> <p>(5) ワーテルロー市と姉妹都市提携30年になるが市として何か企画しているか。</p>	
2	<p>「ウイズコロナ」について</p> <p>新型コロナウイルスの感染発生から3年以上経過した。まだ治療薬は確立されていないが、ワクチン接種や感染者動向データ等からこれまで行ってきた感染症対策については見直す時期にきている。</p> <p>(1) 「ウイズコロナ」の新時代、長久手市はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークを過ごした。11月には、ジブリパークが一部開園し、イベント等関連の予算計上がされている。イベント開催にあたり、市の考えはどうか。</p> <p>(3) 市民まつりは、ここ最近コロナ禍にあって開催できなかったが、市としてどのような考えか。</p>	